



Sun Fire™ 15K/12K システム

ハードウェアの設置と移動の手引き

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No. 816-2190-11(v2)
2002 年 6 月, Revision A

コメントの宛先: docfeedback@sun.com

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Fire, Sun VTS, Sun Fireplane interconnect は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サン・ロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれらに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Fire 15K/12K Systems Hardware Installation and De-Installation Guide Part No: 806-3511-11(v3) Revision A
-----	--



目次

はじめに xi

1. Sun Fire 15K/12K システムの設置の準備 1-1
 - 1.1 安全のための注意事項 1-1
 - 1.2 設置場所の準備 1-4
 - 1.3 システムコントローラの接続 1-5
 - 1.4 ネットワークハードウェアの接続 1-6
2. Sun Fire 15K/12K システムハードウェアの設置 2-1
 - 2.1 必要な工具類 2-1
 - 2.2 ホストのインストールのための作業一覧 2-2
 - 2.3 システムコンポーネントの位置付け 2-3
 - 2.4 キャビネットのアース 2-4
 - 2.5 電源ケーブルの接続 2-7
 - 2.6 入出力ケーブルのラベル付け 2-9
 - 2.7 システムの電源投入 2-9
3. インストール済みの Solaris ドメインソフトウェアの設定 3-1
4. Sun Fire 15K/12K システムの設置の完了 4-1
 - 4.1 ホストでの SunVTS の実行 4-1

4.2	設置の完了	4-3
5.	Sun Fire 15K/12K システムの移動前の作業	5-1
5.1	システムのバックアップ	5-1
5.2	ドメインの構成解除	5-1
6.	Sun Fire 15K/12K システムキャビネットの移動	6-1
6.1	キャビネット移動の準備	6-1
6.2	キャビネットの準備	6-2
6.3	キャビネットの梱包	6-3
A.	適合条件	A-1
	索引	索引-1

図目次

- 図 2-1 Sun Fire 15K/12K システムのアース 2-4
- 図 2-2 システムボードの電源と ESD 接続 2-5
- 図 2-3 システムキャビネットのアース用ケーブル接続点 2-7
- 図 2-4 AC 電源コードの接続 2-8
- 図 2-5 ケーブルのラベルの例 2-9
- 図 2-6 回路遮断器と電源装置 2-10
- 図 4-1 入出力ケーブルの固定 4-3
- 図 6-1 高さ調整脚の格納 6-3
- 図 6-2 キャビネットのキックプレート部品の取り外し 6-4
- 図 6-3 パレットデッキに取り付けられた傾斜路 6-5
- 図 6-4 運搬用パレットデッキ上のキャビネット 6-6
- 図 6-5 最終的な部品と梱包箱の組み立て 6-8
- 図 6-6 運搬の準備が完了したキャビネット 6-9

表目次

表 1-1	取り扱いの注意	1-2
表 1-2	記号について	1-3
表 2-1	作業一覧	2-2
表 6-1	運搬に必要なスペース	6-3

Declaration of Conformity

Compliance Model Number: 2080
Product Name: Sun Fire 15K/12K Systems

EMC

European Union

This equipment complies with the following requirements of the EMC Directive 89/336/EEC:

EN55022:1995/CISPR22:1997	Class A
EN550024:1998 EN61000-4-2	4 kV (Direct), 8 kV (Air)
EN61000-4-3	3 V/m
EN61000-4-4	1.0 kV Power Lines, 0.5 kV Signal Lines
EN61000-4-5	1 kV Line-Line, 2 kV Line-Gnd Power Lines
EN61000-4-6	3 V
EN61000-4-8	3 A/m
EN61000-4-11	Pass
EN61000-3-2:1995	Pass
EN61000-3-3:1995	Pass

Safety

This equipment complies with the following requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC:

EN60950:1992, 2nd Edition, Amendments 1,2,3,4,11	TÜV Product Service Certificate No. Z1A 01 07 17641 013
IEC 950:1991, 2nd Edition, Amendments 1,2,3,4 Evaluated to all CB Countries	CB Scheme Certificate No. CB 01 07 17641 014

Supplementary Information

This product was tested and complies with all the requirements for the CE Mark.

Dennis P. Symanski
Manager, Compliance Engineering
Sun Microsystems, Inc.
901 San Antonio Road, MPK15-102
Palo Alto, CA 94303-4900, USA

DATE

Tel: 650-786-3255
Fax: 650-786-3723

Peter Arkless
Quality Manager
Sun Microsystems Scotland, Limited
Springfield, Linlithgow
West Lothian, EH49 7LR
Scotland, United Kingdom

DATE

Tel: 0506-670000
Fax: 0506 760011

はじめに

このマニュアルでは、ホストハードウェアの取り付けと設定の方法、およびホストソフトウェアのインストールと設定の方法について説明します。

このマニュアルは、Sun Fire™ 15K/12K システムの設置場所の準備および設置に携わる、保守作業員とユーザーのデータセンターのスタッフを対象としています。

マニュアルの構成

第 1 章では、安全に関する情報と、システムを設置する前に完了する必要がある設置場所の準備について説明します。

第 2 章では、システムハードウェアの設置とテストに必要な主な手順を説明します。

第 3 章では、システムプラットフォーム上に複数のドメインを定義するために必要な手順を説明します。

第 4 章では、システム設定が適切かどうかを検証する方法について説明します。

第 5 章では、システムをほかの場所へ移動する前に行う、システムの適切な停止方法について説明します。

第 6 章では、システムの設置場所を変更する前に行う、システムの梱包および移動の方法について説明します。

索引

UNIX コマンド

このマニュアルでは、具体的なソフトウェアコマンドや手順を記述せずに、ソフトウェア上の作業だけを示すことがあります。作業の詳細については、オペレーティングシステムの説明書、またはハードウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

関連資料の参照を必要とする作業を以下に示します。

- システムの停止
- システムの起動
- デバイスの設定
- その他、基本的なソフトウェアの操作

これらの手順については、以下の資料を参照してください。

- 『Sun 周辺機器 使用の手引き』
- オンライン AnswerBook2™ (Solaris ソフトウェア環境について)
- システムに付属しているソフトウェアマニュアル

書体と記号について

このマニュアルで使用している書体と記号について説明します。

表 P-1 このマニュアルで使用している書体と記号

書体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	マシン名% su Password:
AaBbCc123 またはゴシック	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。 rm ファイル名 と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅をこえる場合に、継続を示します。	% grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`

シェルプロンプトについて

シェルプロンプトの例を以下に示します。

表 P-2 シェルプロンプト

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	マシン名%
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

関連マニュアル

表 P-3 関連マニュアル

用途	マニュアル名	Part No.
保守	『Sun Fire 15K/12K システムはじめにお読みください』	816-2170
保守	『Sun Fire 15K/12K システム概要』	816-2175
保守	『Sun Fire 15K/12K システム開梱の手引き』	816-2165
保守	『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』	816-2184
保守	『Sun Fire 15K/12K システムハードウェアの設置と移動の手引き』 (このマニュアル)	816-2190
保守	『Sun Fire 15K/12K システムサービスマニュアル』	816-2194
保守	『Sun Fire 15K/12K システムサービスリファレンス I - 名称一覧』	816-2195
保守	『Sun Fire 15K/12K システムサービスリファレンス II - コンポー ネントの番号』	816-2196
保守	『Sun Fire 15K/12K システムキャリアプレートの構成』	816-2197

米国の輸出規制法について

このサービスマニュアルに記載されている製品および情報は、米国の輸出規制法に従うものであり、その他の国の輸出または輸入に関する法律が適応される場合もあります。核またはミサイル、化学生物兵器、核の海上での最終使用または最終使用者は、直接的または間接的にかかわらず厳重に禁止されています。米国の通商禁止対象国、または拒否された人物および特別認定国リストに限らず、米国の輸出禁止リストに指定されている実体への輸出または再輸出は、厳重に禁止されています。予備の CPU の使用または交換は、米国の輸出法に従って輸出された製品に対する CPU の修理または 1 対 1 の交換に制限されています。米国政府の許可なしに、製品のアップグレードに CPU を使用することは、厳重に禁止されています。

第1章

Sun Fire 15K/12K システムの設置の準備

1.1 安全のための注意事項

システムを設置する場合には、次のことに注意してください。

- 装置上に記載されている注意事項および警告、取り扱い方法に従ってください。
- ご使用の電源の電圧や周波数が、装置の電気定格表示と一致していることを確認してください。
- 正しくアースされた電源コンセントを使用してください。
- 装置の開口部に物を差し込まないでください。内部は高電圧になります。金属など導体を入れるとショートして、発火、感電、装置の損傷の原因となることがあります。
- 装置の保守については、認定された技術者に問い合わせてください。

事故や装置の故障を防ぐために、表 1-1 の注意事項を確認してください。

表 1-1 取り扱いの注意

項目	問題	注意事項
AC/DC 電源	感電	保守を行う前に、すべての AC/DC 電源が正しくアースされていることを確認します。ESD 保護のため、作業中は AC のアースが接続されたままにしてキャビネットをアースします。
ESD キット	静電気	アース用ストラップを装着すると、ESD マットが静電気による損傷を防ぎます。Sun Fire のコンポーネントを取り扱う場合は、Sun Microsystems™ が提供する ESD キットを使用してください。
アース用ストラップ	静電気	プリント回路基板を取り扱うときは、伝導性のあるアース用ストラップを着用します。
保護パネル	システムの損傷 および過熱	システムの保守作業をした後は、すべての保護パネルを取り付けます。
フィルターパネル	システムの損傷 および過熱	すべての使用していないカードケージスロットに、カードケージフィルターパネルを取り付けます。スロットが空いていると、システムの冷却能力が著しく低下します。
PCI スロットカバー	システムの損傷 および過熱	システムボードのすべての使用していない PCI スロットに、PCI スロットカバーを取り付けます。システムボードの背面に開口部があると、システムの冷却機能が低下します。

このマニュアルでは、特別な注意を払う必要のある注意事項に、次の記号を使用しています。表 1-2 で記号とその意味を確認してください。

表 1-2 記号について

	注意	この装置には高電圧が流れています。センターブレイクおよびカードケージ、ドライブエリアに接触した場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
	注意	事故の発生や装置が故障する危険性があります。事故や故障を防ぐため、指示に従ってください。
	AC	端末には、交流電流または交流電圧を使用してください。
	保護アース	保護アース導線です。
	シャーシ	フレームまたはシャーシが終端です。
	ヒューズ交換 マーク	発火や感電を防ぐため、必ず同種類で同定格のヒューズと交換してください。



注意 - 無資格者が不当な処理を行った場合、装置に重大な損傷が発生する可能性があります。無資格者による不正な扱いによって損害が発生した場合は、法的責任を問われることがあります。

このマニュアルで説明している手順は、トレーニングを受けた認定保守プロバイダが行う必要があります。



注意 - 作業を始める前に、このマニュアルの手順をよく読んでください。同等の装置で同様な作業を行ったことがない場合は、この手順を実行しないでください。

1.2 設置場所の準備

注 – 設置場所の準備の詳細は、『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』(Part No. 816-2184) を参照してください。

設置場所は、ユーザーが準備してください。ご購入先またはサンの代理店が設置の準備を支援し、ユーザーから到着の通知を受けて、装置を取り付けます。

システムを設置する前に、次の項目を確認してください。

1. システムを設置する場所は十分に清掃し、設置準備をするときに電気掃除機で掃除しておきます。
2. 設置場所に、特別な装置を必要とする問題や特殊な条件がある場合は、ユーザー側で必要な装置を準備してください。
3. 設置のためのチェックリストおよび報告書を用意して参照できるようにしておきます。
4. 不足または損傷している部品はすべて、運送業者およびサンに通知してください。
5. 『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』に記載されているように、必要な電気装置の設置を完了し、必要な電力を供給します。
6. 『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』に記載されているように、適切な空調設備を取り付けます。
7. 『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』に記載されているように、空調設備を操作して 48 時間動作させ、室温を適切な温度に設定します。
8. 『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』に記載されているように、データセンターネットワークへのアクセスを可能にします。
9. 『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』および『Sun Fire 15K/12K システム開梱の手引き』に記載されているように、システムを梱包から取り出し、設置場所に移動します。

これらの作業を実行するために必要な情報については、『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』を参照してください。

1.3 システムコントローラの接続

Sun Fire 15K/12K システムにはシステムコントローラ (システムコントロールボードおよびシステムコントロール周辺装置) があり、プラットフォームの管理コントロールおよび監視をサポートします。各 Sun Fire 15K/12K システムフレームには、2つのシステムコントローラが装備されています。システムコントローラの1つは、主コントローラとして動作します。2つ目のシステムコントローラは、主システムコントローラに障害が起きた場合に、管理コントロールを自動的に引き継ぐことができます。システム管理サービス (SMS) ソフトウェアをシステムコントローラ上で実行することによって、制御および監視が可能になります。

システムコントローラには Sun Fire 15K/12K システムの電源装置から電力が供給されます。システムコントローラに電源を投入してプラットフォーム構成を開始するには、データセンターの電源への接続を完了する必要があります。プラットフォームをデータセンターの電源に接続する方法の詳細は、このマニュアルの第2章および『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』の第3章を参照してください。

各システムコントローラにはコンソール接続が必要です。この接続は、ユーザーのデータセンターネットワークで使用される IP アドレスの規定などの初期構成を行うために使用されます。システムコントロール (SC) プロセッサボード前面の 8 ピン DIN タイプコネクタによって、コンソール接続が可能になります。このケーブルの終端は、標準 DB-25 コネクタです。このケーブルは、コネクタに互換性のある端末 (VT150 など) または端末集配装置のいずれにも接続できます。SC-CPU ケーブルのピン配置と終端仕様については、『Sun Fire 15K/12K システムサービスマニュアル』を参照してください。

コンソール接続または Telnet 接続は、コマンド行版の SMS ソフトウェアとの対話に使用できます。GUI 管理は、ディスプレイ装置が必要です。SMS GUI ソフトウェアの出力の表示には、X ウィンドウに対応する装置ならどれでも使用できます。管理者の端末に出力を表示しながら、SC 上でプログラムを実行できます。

1.4 ネットワークハードウェアの接続

2つのシステムコントローラおよび各動的システムドメインは、ユーザーのデータセンターネットワークに接続する必要があります。ハードウェア構成の前にこれらを接続しておく必要があります。データセンターネットワークに接続するために使用できるオプションについては、『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』の第4章「ネットワーク計画」を参照してください。

第2章

Sun Fire 15K/12K システムハードウェアの設置

2.1 必要な工具類

注 - 次に示すのは、プロセッサキャビネットを設置するときに必要な最小限の工具およびテスト装置です。

- 1/8 インチおよび 3/16 インチの一般的なマイナスのねじ回し
- プラスのねじ回し (Phillips の 2 番)
- デジタル電圧計 (DVM)
- 9/16 インチのオープンエンドレンチ (または、これに相当するもの)
- ナットドライバー (1/2 インチ)

2.2 ホストのインストールのための作業一覧

表 2-1 作業一覧

作業	参照先
システムコンポーネントの位置付け	2-3 ページの 2.3 節「システムコンポーネントの位置付け」
システムへのケーブル接続	<ul style="list-style-type: none">• 2-4 ページの 2.4 節「キャビネットのアース」• 2-7 ページの 2.5 節「電源ケーブルの接続」• 2-9 ページの 2.6 節「入出力ケーブルのラベル付け」
AC コンポーネントへの電源投入	2-9 ページの 2.7 節「システムの電源投入」
インストール済みドメインの構成	第 3 章
システムの設置の終了	第 4 章
システムの移動準備	第 5 章
システムの移動	第 6 章

2.3 システムコンポーネントの位置付け



注意 – プロセッサまたは入出力キャビネットに、機械的または電氣的な改造を加えないでください。システムが改造された場合、Sun Microsystems はその製品に対して一切の責任を負いません。

1. 上げ床を設置する場合は、ケーブルの引き出し口の位置を決めます。
2. 適切な通気フロアパネルを使用していることを確認して、ケーブルを取り付けやすい場所にキャビネットを移動します。
『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』の 2-2 ページの 2.1 節「基本的な冷却要件」を参照してください。
3. プロセッサと入出力キャビネットを指定された場所に取り付けます。
『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』の 2-6 ページの 2.2 節「コンピュータールームの配置」を参照してください。床配置の例を、図 2-2 に示します。
4. プロセッサキャビネットをユーザーによって用意されたスペースに取り付け、保守のためにドアが開くことを確認します。
5. すべての電源装置の回路遮断器 (AC0 および AC1) がオフになっていることを確認してください。

2.4 キャビネットのアース

Sun Fire 15K/12K システムは、電源コードを介したアースが可能です。そのため、このシステムにはアース用ケーブルは付属していません。電源コードには3つのピンがあって、2つは電流用で1つはアース用です。AC入力モジュールでは、アース用ピンとシステムシャーシが接続されています。ソケットに電源コードを接続すると、アース用のピンが電源ソケットに接触して、シャーシのアースが完了します。確実にアースさせるために、ユーザーは適切にアースされた電源ソケットを用意して、配電盤 (PDU : Power Distribution Unit) がアースグランドされている必要があります。アースされたシステムについては、図 2-1 を参照してください。システムボードの電源および静電放電防止装置 (ESD) の接続については、図 2-2 を参照してください。

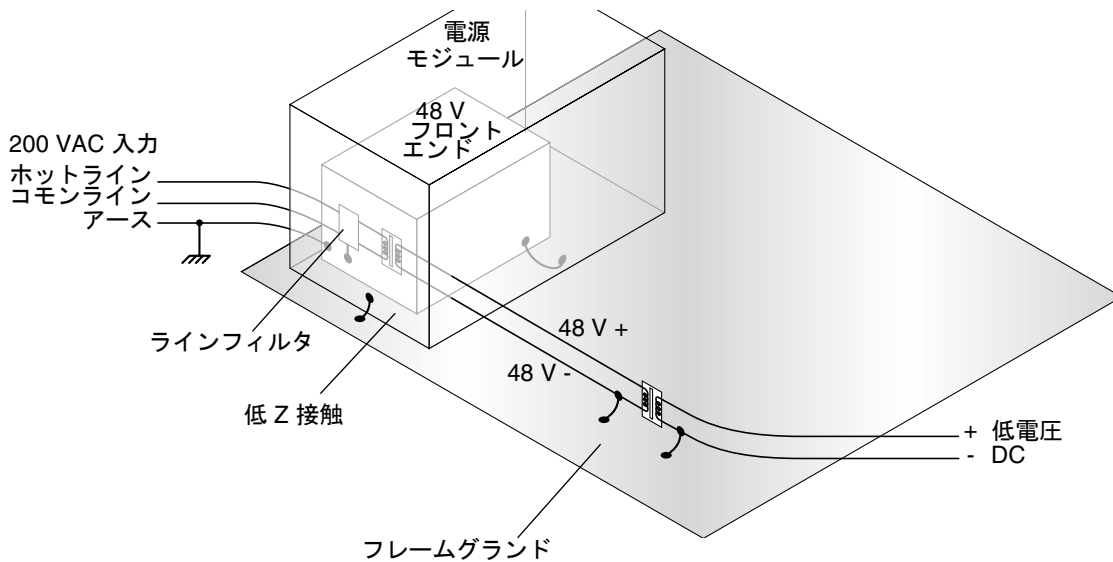


図 2-1 Sun Fire 15K/12K システムのアース

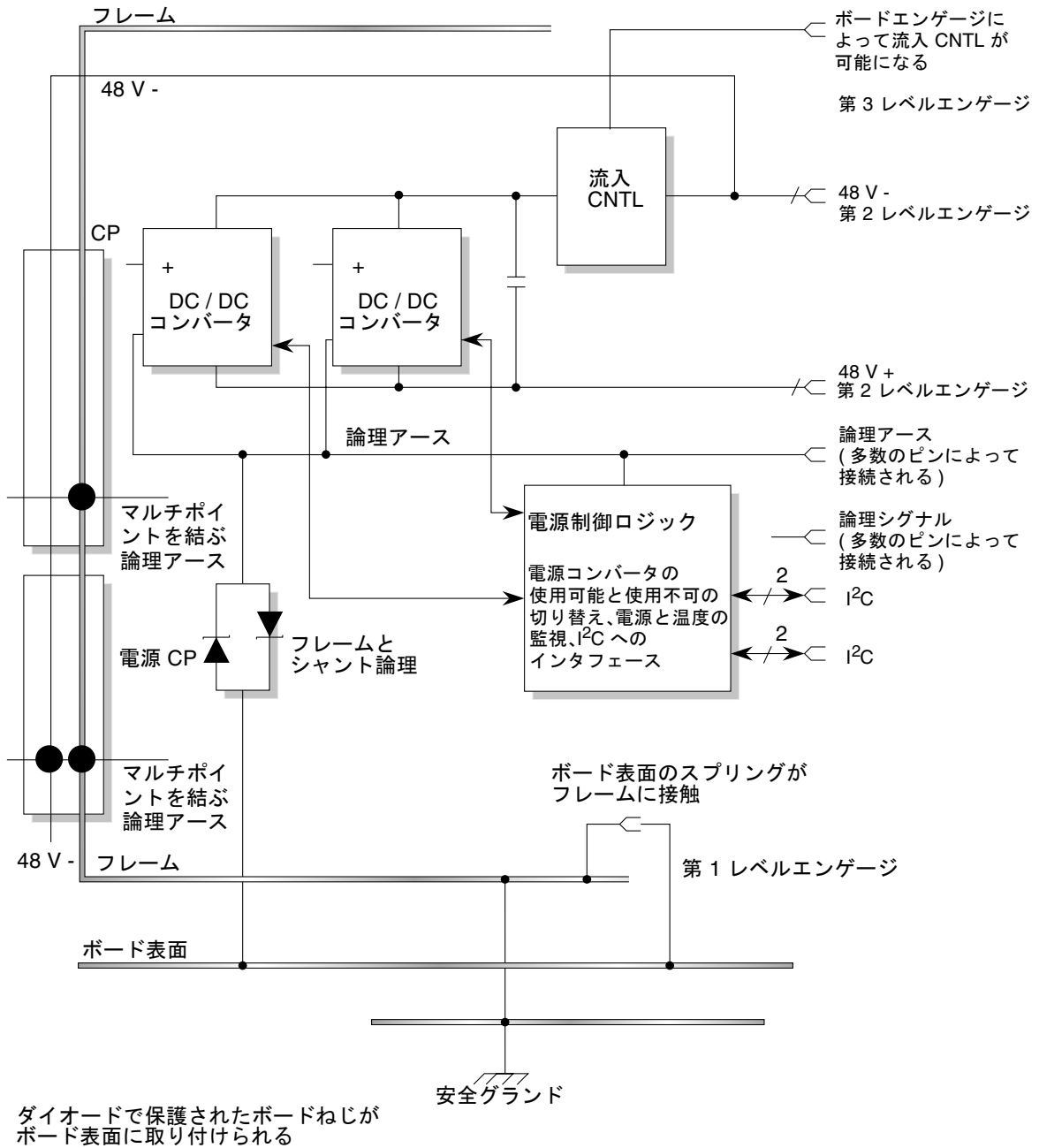


図 2-2 システムボードの電源と ESD 接続

システムに、アース用のケーブルを取り付けることもあります。これは必須ではありませんが、アースポイントを追加することで漏れ電流をより効果的に分散できます。電源コードはソケットを経由してアースし、アース用ケーブルはコモンアースグラウンドを基準とする必要があります。そうしないと、グラウンド電位に差が生じる可能性があります。



注意 – PDU ソケットのアース機能が不明確な場合は、PDU ソケットが正しくアースすることを確認するまで、アース用ケーブルを取り付けないでください。グラウンド電位の差が明らかな場合は、修正作業を行う必要があります。

Sun Fire 15K/12K システムを適切にアースするために、次の手順を行ってください。

1. 適切にアースされた PDU がユーザーの設置場所にあることを確認します。PDU はアースされている必要があります。
2. すべてのアースポイント (上げ床および電源ソケット) が PDU のアースを基準にしていることを確認します。

注 – システムをアースする場合は、アース用ケーブルを別途用意する必要があります。アース用ケーブルはシステムに同梱されていません。



注意 – 製造工程で、アース用ケーブルの接続部分の表面が塗装されていることがあります。接続するときには、システムとケーブルの金属面をしっかりと接合させてください。

3. 図 2-3 に示すように、システムのフレーム底部にあるキックプレートの後ろにアース用ケーブルを接続します。

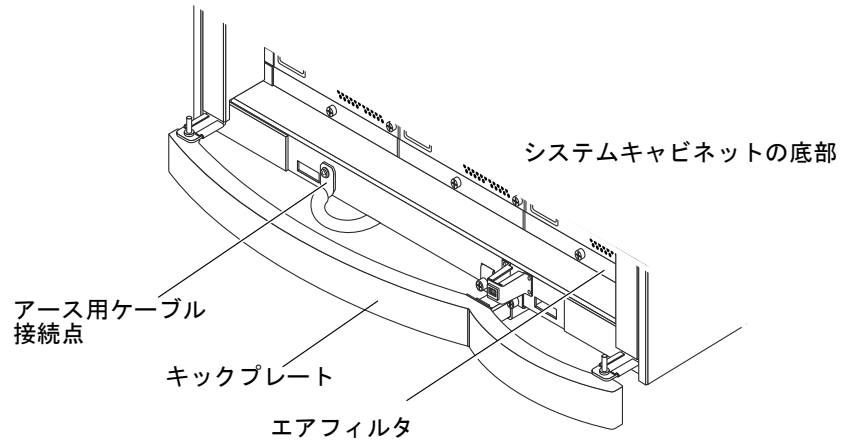


図 2-3 システムキャビネットのアース用ケーブル接続点

2.5 電源ケーブルの接続



注意 – プロセッサまたは入出力キャビネットに、機械的または電氣的な改造を加えないでください。システムが改造された場合、Sun Microsystems はその製品に対して一切の責任を負いません。

このシステムには、アースされた電気回路が必要です。米国の標準化機関である Underwriters Laboratories, Inc. は次のように規定しています。

サイズ、絶縁材、接地および非接地分岐回路供給導線の太さが同一である絶縁接地線 (緑色のもの、または緑色で 1 つ以上の黄色のストライプが入ったものを除く) を、装置またはシステムに電源を供給する分岐回路の一部として接地する。この接地線は、サービス装置にアースするか、別々に派生したシステムによって電源が供給されている場合は、供給電圧器またはモーター発電装置にアースする。

装置またはシステムの近くにある接続プラグソケットはすべてアース対応とし、これらのソケットに接続する接地線はサービス装置にアースする。



注意 - AC 電源接続は、キャビネット内のコンポーネント (ボードおよびドライブ) を静電気による損傷から保護するためのアースの経路となります。

付属のケーブルは、次のように接続してください。

1. 電源コードを接続する前に、すべての電源装置ブレーカー (AC0 および AC1) がオフになっていることを確認してください。
2. DVM を使用して、入力 AC 電圧が設置場所に適合していることを確認してください。
詳細は、『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』を参照してください。
3. AC 電源コードを電源装置の正面パネルの適切な AC コネクタに接続します。

図 2-4 を参照して、適切なパーツ番号と接続方向を確認してください。AC0 電源ケーブルは、ケーブルカバーの留め具が下向きになるように接続します。AC1 電源ケーブルは、ケーブルカバーの留め具が上向きになるように接続します。通常、電源 A のコードは AC0 に接続し、電源 B のコードは AC1 に接続します。

4. 全体の外観を整え、故障を防ぐためにすべてのケーブルを固定します。

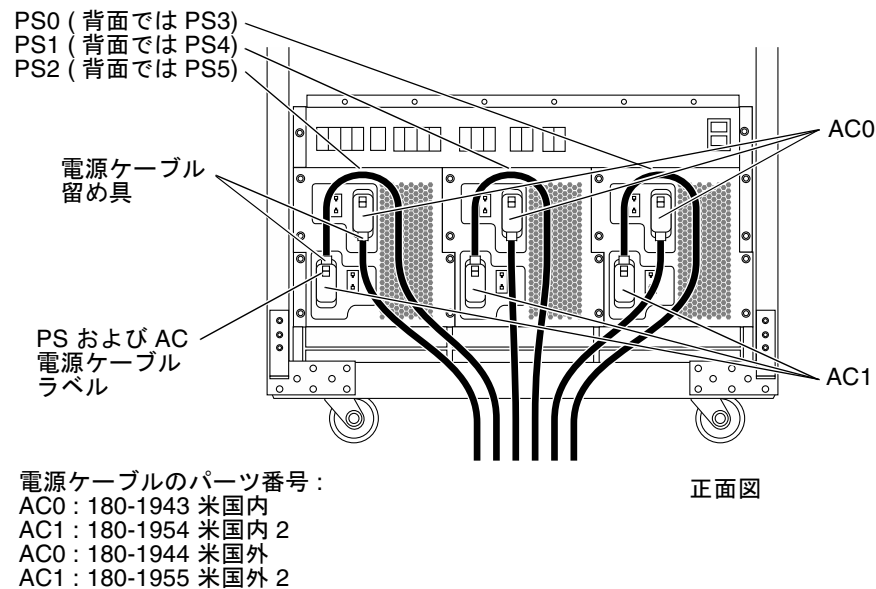


図 2-4 AC 電源コードの接続

2.6 入出力ケーブルのラベル付け

『Sun Fire 15K/12K システムサイト計画の手引き』に従って設置場所を確認し、2-3 ページの 2.3 節「システムコンポーネントの位置付け」に記載されているようにシステムを設置したあと、システムのケーブルを取り付けて接続します。図 2-5 を参照してください。新しい部品および交換部品に付けるための、ラベルのセットがシステムと同梱されています。このセットには、二地点間接続を見分けるために使用するラベルのシートが複数枚入っています。このラベルは、すべての新しいケーブルに使用するだけでなく、再構成が必要になった場合に、ケーブルに再度ラベルを付け直すためにも使用できます。

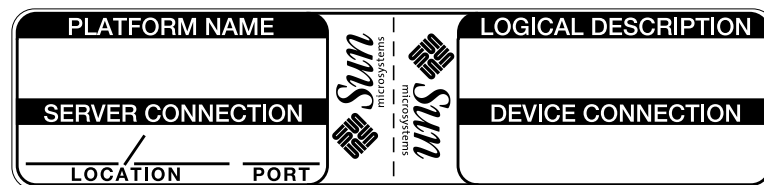


図 2-5 ケーブルのラベルの例

2.7 システムの電源投入

1. 別途用意した AC 回路遮断機の電源を入れます。
2. 図 2-6 で示すように、正面および背面にある電源モジュールのすべての DC 回路遮断器がオンになっていることを確認してください。

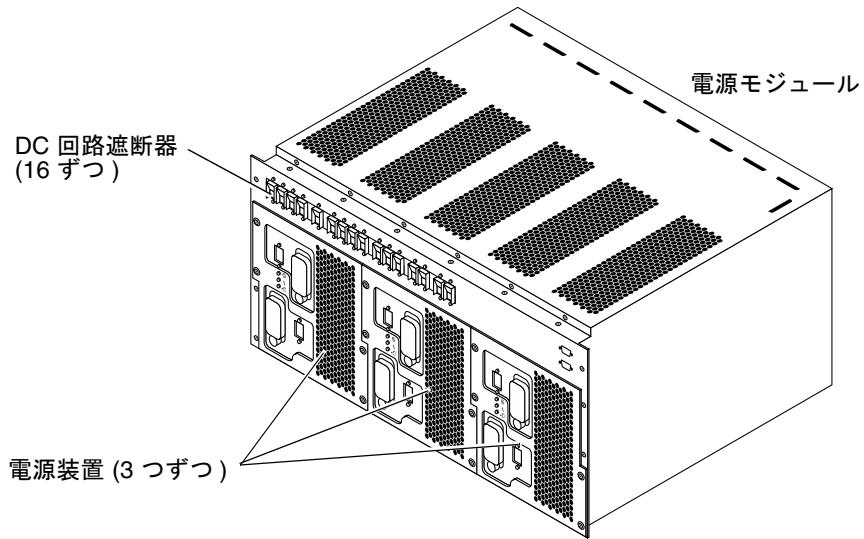


図 2-6 回路遮断器と電源装置

3. システムに電力を供給するため、電源装置モジュールにあるすべての正面パネルの回路遮断器 (各電源装置に 2 つの回路遮断器、各システムの正面および背面に 3 つの電源装置) を順次オンにします。

第3章

インストール済みの Solaris ドメイン ソフトウェアの設定

この章では、Sun Fire 15K/12K システムの最初のドメイン上にユーザーのネットワークパラメタをインストールする手順を説明します。この手順では、端末ディスプレイで、SC コマンド行ウィンドウと domain console (1M) ウィンドウの両方を開いていることを前提としています。

この設定は、ホストが設置場所に届いたときに、インストール済みのドメイン上で行います。クラッシュからの回復または新しいドメインを構成している場合には、この手順を実行しないでください。

1. ユーザー `sms-svc` で、メイン SC にログインします (デフォルトのパスワードは、`xxxxxx` です)。
2. 次のように入力して、ドメインを作成します。

```
sms-svc% addboard -d domain_id domain_tag -c assign  
board_type,board_id
```

domain_id には、ドメイン ID の英字を指定します。指定できるのは A ~ R で、大文字・小文字は区別しません。出荷時点で構成されたドメインには A を使用します。

domain_tag には、`addtag (1M)` を使用するドメインに割り当てられた名前を指定します。

board_type には、ボード ID の英字を指定します。ボードのリストはスペースで区切ります。*board_type* の指定は任意です。*board_id* は、拡張スロットの組とは異なり、またこれに対応するものでもありません。指定できるのは、`<0 ~ 17>`、`<0 ~ 1>` の組み合わせです。ボード識別子の引数を複数指定することはできません。

board_type、*board_id* は、次の形式で指定します。

```
cpu, (0..17) [.0]
dcpu, (0..17) [.1] (MaxCPU)
iobd, (0..17) [.1] (hsPCI I/O)
```

次に例を示します。

```
addboard -d A -c assign cpu,0.0 iobd,0.1 cpu,1.0 cpu,2.0
```

3. 次のように入力して、ドメインを起動します。

```
sms-svc% setkeyswitch -d A on
```

4. `setkeyswitch` 処理が完了したあと、次のように入力します。

```
sms-svc% console -d A
```

数分後、`ok>` プロンプトが表示されます。

5. 次のように入力して、ドメインを起動します。

```
ok> boot
```

はじめてドメイン OS を起動するとき、管理者はホスト固有の情報を定義するように求められます。これにはホスト名およびロケール、IP アドレス情報が含まれます。詳細は、Solaris のインストールマニュアルを参照してください。

第4章

Sun Fire 15K/12K システムの設置の完了

システムを起動してネットワーク上での適切な設定を行ったあと、診断を実行します。

4.1 ホストでの SunVTS の実行

SunVTS™ ソフトウェアを実行する前に、まずホストを起動して、ローカル変数およびネットワーク変数を設定する必要があります。

SunVTS は、システムのすべての部品 (プロセッサおよび入出力) の全機能をテストします。SunVTS のテストは、夜間に行うのが理想的ですが、4 ~ 24 時間を確保できればシステムテストとして適切です。

1. X 端末のディスプレイステーションにログインし、ドメインが接続を開始できることを確認してから、次のように入力します。

```
% xhost +
```

2. スーパーユーザーでドメインにログインして、SunVTS を起動します。

```
# csh
# setenv DISPLAY sc_hostname:0.0
# setenv LD_LIBRARY_PATH /usr/openwin/lib
# setenv OPENWINHOME /usr/openwin
# /opt/SUNWvts/bin/sunvts -l
```

SunVTS の初期化に失敗すると、SunVTS のインストールが必要になる場合があります。詳細は、SunVTS AnswerBook マニュアルを参照してください。

3. SunVTS のウィンドウを表示し、コントロールパネルに示された装置と、システムに物理的に搭載されている装置とを照合します。

SunVTS を起動すると、多くの場合は、ほとんどのハードウェアの部品に対してクイックチェックを行います。装置を取り付けてマシンの設定を行った直後には、SunVTS はこの装置が正しく取り付けられているかどうかを確認します。

一致しない場合は、SunVTS マニュアルの「コントロールパネル」を参照してください。

SunVTS が、システムに物理的に搭載されている装置を表示できない場合は、もう一度取り付け状態を注意深く確認してください。

4. スタートボタンをクリックします。

「Set SunVTS Options」メニューで「Auto Start」を有効にし、オプションファイルを保存している場合は、次のように入力して SunVTS を起動できます。

```
# /opt/SUNWvts/bin/sunvts -l -o options_filename
```

5. SunVTS の状態を監視します。

システムが動作し、テストで障害が検出されていないことを確認します。

6. 各ドメインのテストを行うには、手順 2 ~ 5 を繰り返します。

4.2 設置の完了

1. 購入したすべてのソフトウェアパッケージのインストールおよび設定を行います。
2. 次のように入力して、ドメインのハードウェア状態を取得します。

```
% /usr/platform/sun4ul/sbin/prtdiag -v
```

各ドメインに対して、この手順を繰り返します。

3. すべてのケーブルがしっかりと取り付けられ、アタッチメントハードウェアが固定されていることを確認します。
4. 図 4-1 に示すように、エアリナム上の入出力ケーブルを支える留め具にすべてのケーブルをまとめ、マジックテープ式のケーブルタイ (パーツ番号 230-1855) で結束します。

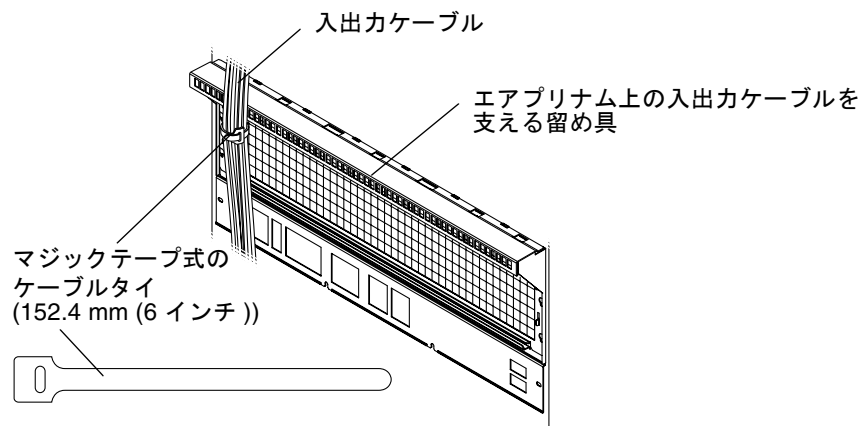


図 4-1 入出力ケーブルの固定

5. すべてのアクセスドアを閉じます。
6. 側面パネルがキャビネットに正しく取り付けられていることを確認します。
7. キャビネットがサイト計画に基づいて設置されていることを確認します。
8. システムキャビネットの四隅にある高さ調整脚を床に届くまで下げます。

9. 高さ調整脚をさらに 4 分の 1 回転させて調節します。
10. 2 つのアクセスドアが接する位置を目視で確認します。アクセスドアが同じ高さでまっすぐになるまで高さ調整脚を調節します。
システムキャビネットの反対側でもこの手順を繰り返してください。



注意 - 調整脚にはシステムキャビネットの全体の重量がかからないようにしてください。キャスターが床に接地していることを、目視で確認してください。

11. Sun Fire 15K/12K システムを設置したあと、システムキャビネットに同梱されている「Installation Report」に記入し、返送してください。

設置作業は完了しました。問題が発生した場合は、次のマニュアルを参照してください。

- 『Sun Fire 15K/12K システム製品概要』
- 『Sun Fire 15K/12K システムサービスマニュアル』

第5章

Sun Fire 15K/12K システムの移動 前の作業

この章では、移動の準備としてシステムを正しく停止させる方法を説明します。移動方法については、第6章を参照してください。

5.1 システムのバックアップ

- すべてのドメインおよび SC が正しくバックアップされたことの確認を、システム管理者に依頼します。

5.2 ドメインの構成解除

1. ドメインの構成を解除します。詳細は、『System Management Services (SMS) 1.2 管理者マニュアル』を参照してください。
2. SMS 構成ファイルを保存します。
3. SC の構成を解除します。詳細は、『System Management Services (SMS) 1.2 管理者マニュアル』を参照してください。
4. 『Sun Fire 15K/12K システムサービスマニュアル』の第2章にある次の節を参照して、システムの電源を切断します。
 - 2-5 ページの 2.2.1.2 節「センタープレーンサポートボードの電源切断」
 - 2-10 ページの 2.2.2.2 節「システムコントロール (SC) ボードの電源切断」

- 2-22 ページの 2.2.5.2 節「システムコントロール (SC) 周辺装置ボードの電源切断」
- 2-34 ページの 2.3.1.2 節「拡張ボードの電源切断」
- 2-41 ページの 2.3.2.2 節「CPU (スロット 0) ボードの電源切断」
- 2-51 ページの 2.3.5.2 節「hsPCI (スロット 1) 部品の電源切断」
- 2-58 ページの 2.3.8.2 節「MaxCPU (スロット 1) ボードの電源切断」
- 2-63 ページの 2.4.2 節「4 kW デュアル AC-DC 電源装置の電源切断」
- 2-75 ページの 2.6.2 節「ファントレーの電源切断」
- 2-78 ページの 2.7.1 節「ファンバックプレーンの取り外しのための電源切断」
- 2-85 ページの 2.8.3 節「Sun Fireplane interconnect 部品交換のためのシステムの電源切断」
- 2-92 ページの 2.9.1 節「電源センタープレーン交換のためのシステムの電源切断」
- 2-106 ページの 2.10.2.1 節「ケーブル交換のためのシステムの電源切断」



注 – 次の文は『Sun Fire 15K/12K システムサービスマニュアル』の第 2 章にある電源モジュールおよびファンバックプレーン、Sun™ Fireplane interconnect、電源センタープレーン、ケーブルの交換手順に記載されています。すべての回路遮断器を、常にオンにしておいてください。

システムの移動の準備としてドメインの再構成をするときは、この文を無視してください。

5. システムキャビネットの正面と背面にある、すべての DC 回路遮断器の電源を切ります。
6. システムの正面と背面にある、AC0 および AC1 の回路遮断機の電源を切ります。
7. 別途用意した AC 回路遮断機の電源を切ります。
8. システムの正面と背面にある AC0 および AC1 の電源装置から、電源ケーブルをすべて外します。

第6章

Sun Fire 15K/12K システムキャビネットの移動

6.1 キャビネット移動の準備

1. 梱包用パッケージ (パーツ番号 595-5844) を用意します。

梱包材は移動中につぶれるので、Sun Fire 15K/12K システムキャビネットの移動には、一度使用された運搬用パレットは使用できません。新しい梱包用パッケージには、新しいパレットと、次のアイテムが含まれます。

- パレット
- パレットラックファスナー
- 梱包箱 (内部の上蓋と外側の側板)
- 梱包材 (ラベルと袋)

2. 梱包用ストラップおよび工具があることを確認します。これらは、通常、発送を担当する部門から入手できます。
3. 必要な工具類を入手します。
 - 9/16 インチのオープンエンドレンチ (または、これに相当するもの)

6.2 キャビネットの準備

1. キャビネットの部品を点検するために正面と背面のドアを開けます。
すべてのコンポーネントがしっかりと取り付けられ、すべてのハードウェアが固定されていることを確認します。
2. 移動の前にキャビネットの準備をします。



注意 – 梱包中に 4 つのキャビネットドアが損傷する可能性があります。装置をパレットデッキに積む前に、ドアをキャビネットから取り外してください。キャビネットを移動するときは、キャビネットフレームの端を持ちます。内部のシステムボードハンドルを使用してキャビネットを移動しないでください。

- a. キャビネットの正面と背面のドアを取り外します。上部にあるバネ付きのヒンジピンを下に押してから、ドアを上方向に持ち上げて、キャビネット下部にあるヒンジのピンから外します。
 - b. キャビネットを移動用のパレットデッキ上の適切な位置に固定するまで、4 つのドアは別の場所に保管しておきます。
3. システムキャビネットの正面と背面に、システムのハンドルバーを取り付けます。プラスのねじ回し (Phillips の 2 番) を使用して、ハンドルバーをそれぞれ 4 つの脱落防止機構付きねじで固定します。
この 2 つのハンドルバーは、システムの設置が完了した時点で取り外され、保管されています。
 4. 高さ調整脚を上げて、図 6-1 に示すように、キャビネットフレーム内に完全に格納したことを確認します。

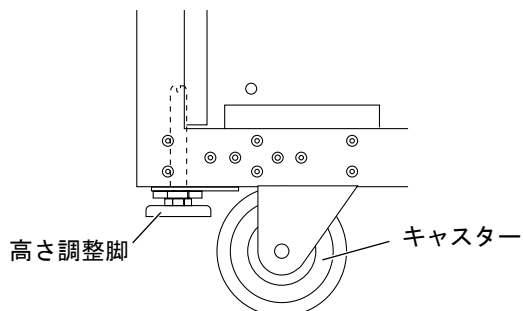


図 6-1 高さ調整脚の格納

5. キャビネットを点検して、緩んだハードウェアや破片などがいないか確認します。
6. すべてのインタフェースケーブルをキャビネットから取り外したことを確認します。
7. 梱包するために、作業しやすい場所へシステムを移動します。

コンピュータールームへ搬入する時は、振動が発生する可能性のある凸凹を避け、次の条件を満たす運搬経路を確保してください。

表 6-1 運搬に必要なスペース

	スタイリングパネルがある場合	スタイリングパネルがない場合
ドアの高さ	2032 mm (80.00 インチ)	2032 mm (80.00 インチ)
廊下およびドアの幅	915 mm (36.00 インチ)	915 mm (36.00 インチ)
最大斜度	10 度	10 度

6.3 キャビネットの梱包

注 - キャビネットをパレットの傾斜路まで移動するには、キャビネットの周囲に 5.49 m (18 フィート) 以上のスペースが必要です。

1. キャビネットを載せるパレットデッキを準備します。

- a. 運搬用パレットを平らな場所に設置して、キャビネットと傾斜路のために周囲に 5.49 m (18 フィート) 以上のスペースを確保します。
- b. 梱包用パッケージの中にある箱から傾斜路を取り出します。
- c. 傾斜路の歯を、これに対応するパレットデッキの穴に噛み合わせます。歯の後ろ側を押したり、そこに立ってみることで、傾斜路が適切な位置にしっかりと固定されていることを確認します。
- d. 2つのパレットチョックのいずれかを、キャビネットの運搬に使用しない側のパレットデッキの端に取り付けます。



注意 – キックプレート固定部品は、傾斜が 5 度の積載用傾斜路でキャビネットを押し上げる場合のみ、あらかじめ運搬側から取り外しておく必要があります。傾斜角度が 10 度を超えるときは、キャビネットを移動することはできません。

2. 運搬パレットデッキに載せるためのキャビネットの準備を行います。

- a. 図 6-2 に示すように、載せる前にキャビネットの両端からキックプレート部品を取り外します。バネ式の脱落防止機構付きピンを、引きながら回して取り外し、キックプレートおよび取り付けチューブを固定部品から外側へ引き出して、キャビネットを運搬用パレットデッキに固定するまで別の場所に保管しておきます。

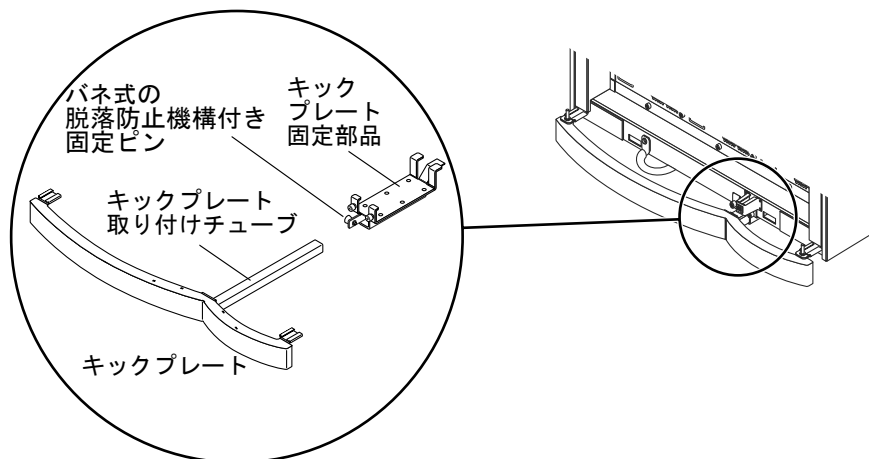


図 6-2 キャビネットのキックプレート部品の取り外し

- b. 2つの傾斜路の前縁にキャビネットのキャスターを合わせます (図 6-3)。

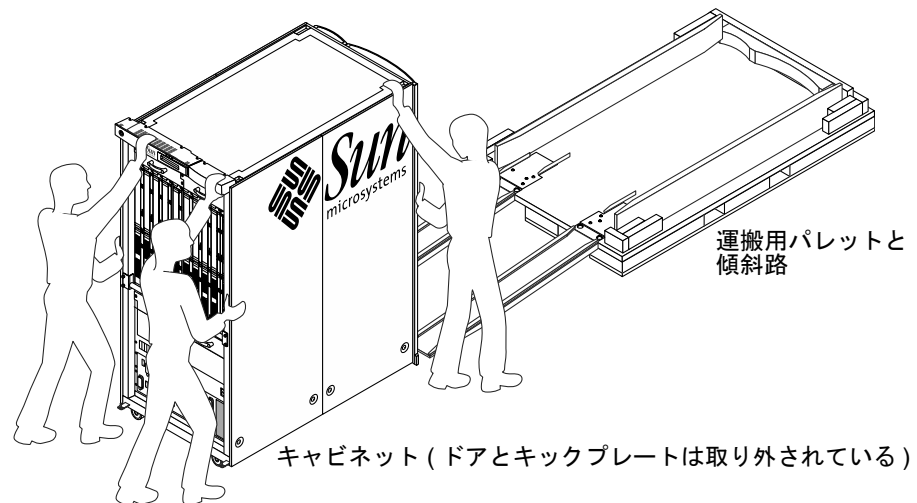


図 6-3 パレットデッキに取り付けられた傾斜路

注 – 運搬用パレットには、運搬する前にキャビネットをパレットデッキに固定するための穴があります。固定には、垂鉛メッキされた運搬用の留め具とボルトを使用します。

c. 傾斜路を使用して、キャビネットを運搬用のパレットデッキに押し上げます。



注意 – 1人または2人でキャビネットを押し、ほかの2人がキャビネットを決められた位置まで誘導します。

d. 2つの垂鉛メッキされた運搬用トウクランプ部品および4つのボルトを位置付けます (図 6-4)。

e. キャビネット底部で、各トウクランプ部品をフレームの四角い穴に挿入して、キャビネットの前縁を運搬用パレットに固定します。

f. 9/16 インチのオープンエンドレンチを使用して、4つのボルトを梱包箱に固定します。

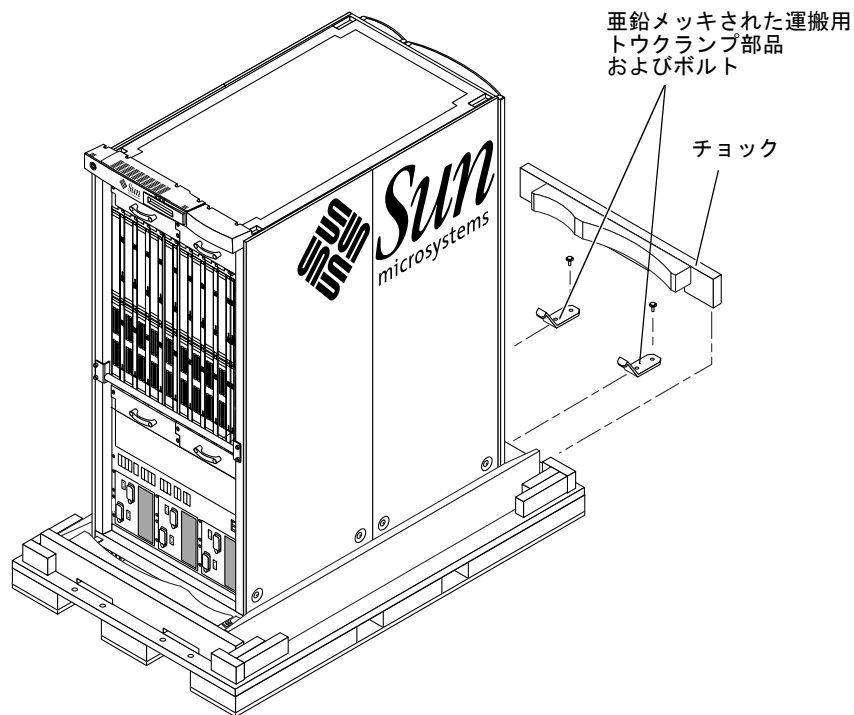


図 6-4 運搬用パレットデッキ上のキャビネット

- g. 残った 2 つの運搬用トウクランプ部品と 4 つのボルトを使用して、キャビネットの反対側を運搬用パレットに固定します。
- h. 9/16 インチのオープンエンドレンチを使用して、残りの 4 つのボルトを梱包箱に固定します。
- i. 4 つの高さ調整脚をそれぞれ運搬用パレットデッキに届くまで下げます。
さらに 4 分の 1 回転させて安定していることを確認し、キャビネットのキャスターへの重量の負荷を軽減します。
- j. 運搬用パレットデッキから傾斜路を外します。
- k. キャビネットが運搬用パレットデッキに固定されたあとで、キックプレート部品を再び取り付けます。
 - キックプレート固定部品の内側のサポート爪を差し込みます。
 - キャビネットフレームの正面の取り付け穴に 2 つの外側の爪を合わせます。

- 部品を内側にスライドさせ、内側のサポート爪をキャビネット下部の水平のサポート材にある 2 つの取り付け穴に合わせます。
 - 2 つの脱落防止機構付きパネル留め具で固定します。
 - キャビネットの面に揃うまで、キックプレート固定部品の四角い取り付けチューブを挿入します。
 - バネ式の脱落防止機構付き固定ピンで固定します。
- l. 残りのパレットチョックを、キャビネットの積載に使用するパレットデッキの端に取り付けます。
 - m. キャビネットの下部にあるヒンジの下部ペグに、正面と背面のキャビネットドアを挿入してそれぞれ取り付けます。各ドアの上部にあるバネ式のピンを下に引いて、ドアのペグをキャビネット上部のヒンジに挿入します。
 - n. 残りの梱包材を組み立てる前にキャビネットを点検して、緩んだハードウェアまたは、工具、破片がないことを確認します。
3. 最後の部品を組み立てます。
 - a. 梱包用パッケージから保護ビニール袋を取り出し、キャビネットの上部と側面を覆います。ビニール袋の下の部分は運搬用パレットの側面にはさみ込みます。
 - b. 工具を梱包用パッケージの工具箱に戻して、パレットデッキ上のキャビネットの正面と背面に積みます。
 - c. パレットデッキ上のキャビネットの横に 2 本の傾斜路を置きます。
 - d. 梱包箱の内部の上蓋を、保護ビニール袋およびキャビネットの上に取り付けます。
 - e. 保守マニュアルのパッケージを保護ビニール袋の外側に取り付けます。
 - f. 電源ケーブルを束ねて、出荷キット箱に入れます。

4. 梱包箱を組み立てます (図 6-5)。

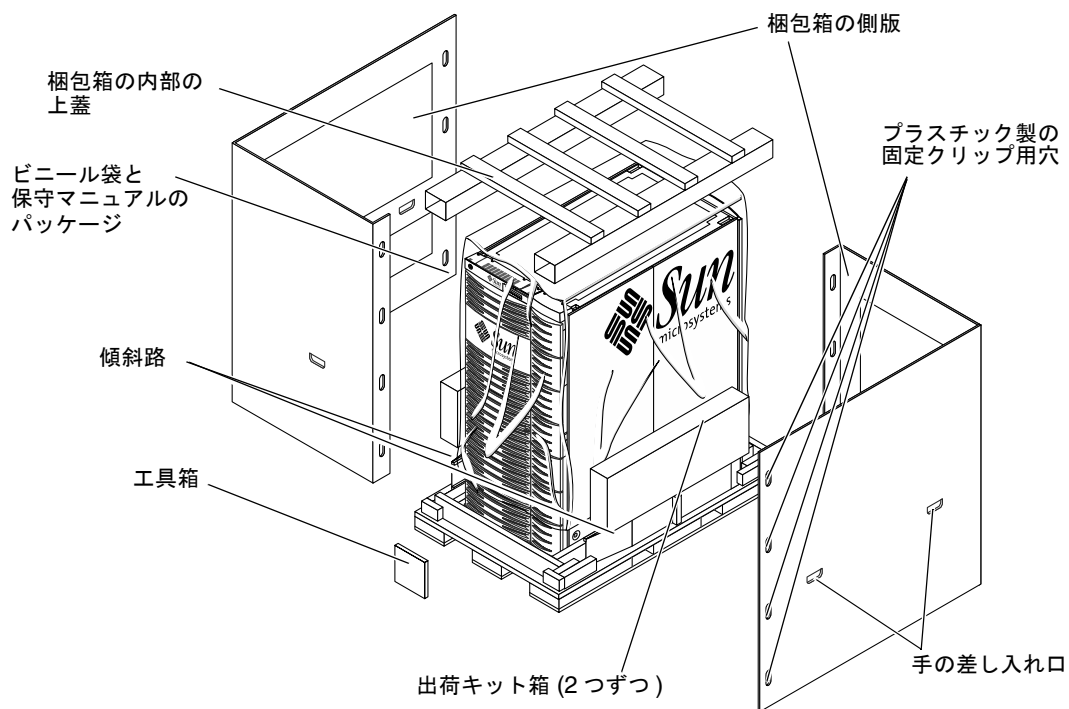


図 6-5 最終的な部品と梱包箱の組み立て

- a. 差し入れ口に手を入れて、2つの梱包箱の側板を運搬用パレットデッキに設置し、プラスチック製の固定クリップ (両側に4つずつ) を取り付ける穴を合わせます。
- b. 8つのプラスチック製固定クリップ (両側に4つずつ) を、梱包箱の側板の端に取り付けます。
- c. 梱包箱の上蓋をキャビネットの上部に置き、梱包箱の側板の上にかぶせます。
- d. ストラップで縁を保護する繊維板を固定します。

図 6-6 に示すように、ストラップでしっかりと縁の保護材を固定します。

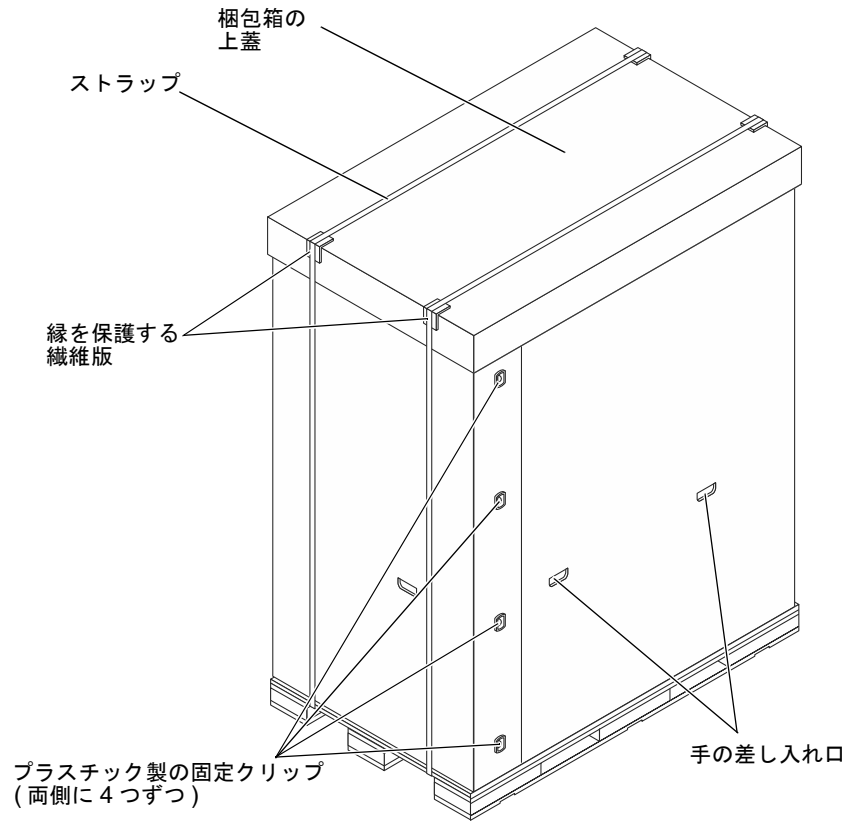


図 6-6 運搬の準備が完了したキャビネット

- e. 梱包用パッケージに含まれている TIP-N-TELL を梱包箱側面の上半分に取り付けます。

付録A

適合条件

Regulatory Compliance Statements

サンの製品には、次の適合規制条件のクラスが明記されています。

- 米連邦通信委員会 (FCC) – アメリカ合衆国
- カナダ政府通産省デジタル機器工業規格 (ICES-003) – カナダ
- 情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) – 日本
- 台湾經濟部標準檢驗局 (BSMI) – 台湾

本装置を設置する前に、装置に記載されているマークに従って、該当する節をよくお読みください。

FCC Class A Notice

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and if it is not installed and used in accordance with the instruction manual, it may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Shielded Cables: Connections between the workstation and peripherals must be made using shielded cables to comply with FCC radio frequency emission limits. Networking connections can be made using unshielded twisted-pair (UTP) cables.

Modifications: Any modifications made to this device that are not approved by Sun Microsystems, Inc. may void the authority granted to the user by the FCC to operate this equipment.

ICES-003 Class A Notice - Avis NMB-003, Classe A

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

VCCI 基準について

クラス A VCCI 基準について

クラス A VCCI の表示があるワークステーションおよびオプション製品は、クラス A 情報技術装置です。これらの製品には、下記の項目が該当します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

BSMI Class A Notice

The following statement is applicable to products shipped to Taiwan and marked as Class A on the product compliance label.

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

安全のための注意事項

すべての作業に先立って、この章を必ずお読みください。この章では Sun Microsystems, Inc. の製品を安全に取り扱っていただくための注意事項について説明しています。

取り扱いの注意

システムを設置する場合には、次のことに注意してください。

- 装置上に記載されている注意事項や取り扱い方法に従ってください。
- ご使用の電源の電圧や周波数が、装置の電気定格表示と一致していることを確認してください。
- 装置の開口部に物を差し込まないでください。内部は高電圧になります。金属など導体を入れるとショートして、発火、感電、装置の損傷の原因となることがあります。

記号について

このマニュアルでは、以下の記号を使用しています。



注意 - 事故や装置故障が発生する危険性があります。指示に従ってください。



注意 - 表面は高温です。触れないでください。火傷をする危険性があります。



警告 - 高電圧です。感電や怪我を防ぐため、説明に従ってください。



オン - システムに AC 電源を供給します。

装置の電源スイッチの種類に応じて、以下のどちらかの記号を使用しています。



オフ - システムへの AC 電源の供給を停止します。



スタンバイ - システムはスタンバイモードになっています。

装置の改造

装置に対して機械的または電気的な改造をしないでください。Sun Microsystems, Inc. は、改造されたサンズの製品に対して一切の責任を負いません。

サン製品の設置場所



注意 - 装置の開口部を塞いだり覆ったりしないでください。また、装置の近くに放熱機器を置かないでください。このガイドラインに従わないと、装置が過熱し、信頼性が損われます。



注意 - 通常動作時の騒音の水準は、70DB(A) 未満です。過熱状態での騒音の水準は、70DB(A) を超える場合があります。一時的にエクスポージャーを制限してください。

SELV 対応

入出力接続の安全状態は、SELV (Safety Extra Low Voltage) の条件を満たしています。

電源コードの接続



警告 - サンの製品は、中性線、または線対線接続を使用する設計になっています。それ以外の電源にサンの製品を接続すると、感電や故障の原因になります。建物に供給されている電力の種類がわからない場合は、施設の管理者または有資格の技術者に問い合わせてください。



警告 - 必ずしもすべての電源コードの定格電流が同じではありません。家庭用の延長コードには過負荷保護がないため、コンピュータ用として使用できません。家庭用延長コードをサンの製品に接続しないでください。



警告 - サンの製品には、アース付き (3 線式) の電源コードを使用しています。アースしたコンセントに電源コードを接続してください。この警告を守らない場合は、感電する危険性があります。

次の警告は、スタンバイ電源スイッチのある装置にのみ適用されます。



警告 - この製品はスタンバイ形式の電源スイッチのみを採用しています。システムの電源を完全に切るためには、電源プラグを抜いてください。設置場所の近くのアースされた電源コンセントに電源プラグを差し込んでください。システムシャーンから電源装置が取り外された状態で、電源コードを接続しないでください。

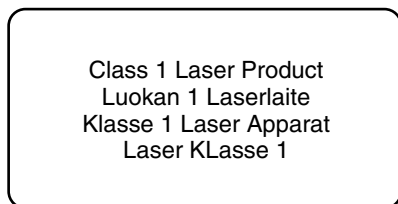
リチウム電池



警告 - サンの CPU ボード上にある実時間時計 (SGS No. MK48T59Y、MK48TXXB-XX、MK48T18-XXXPCZ、M48T59W-XXXPCZ、MK48T08) には、リチウム電池が埋め込まれています。ユーザー自身でこのリチウム電池を交換することはできません。誤った処置をすると爆発する危険性があります。電池を火の中に投入しないでください。また、リチウム電池を分解したり充電したりしないでください。

レーザー規定適合について

サンの製品は、レーザー規定クラス 1 に準拠するレーザー技術を使用しています。

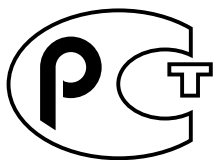


CD ROM/DVD ROM



警告 - このマニュアルで記載されていない操作を行った場合、有害な電波や光線が漏れる可能性があります。

GOST-R Certification Mark



索引

D

DIN タイプコネクタ, 1-5

E

ESD 接続, 2-5

P

PDU ソケットのアース, 2-6

あ

アース

システム, 2-4

ポイント, 2-6

アース用ケーブル, 2-6

アース用ケーブルの接続部分, 2-6

上げ床, 2-3

安全のための注意事項, 1-1

か

開梱, 1-4

回路遮断器, 2-10

き

キックプレート部品, 6-4

キャビネット

開梱, 1-4

配置, 2-3

キャビネットの移動

キャビネットの準備, 6-2

必要なアイテム, 6-1

キャビネットの梱包, 6-3

け

ケーブルタイ, 4-3

ケーブル配線

アース, 2-7

信号, 2-9

電源, 2-7, 2-9

こ

コンソール接続, 1-5

し

システム

注意事項, 1-3

信号ケーブルの配線, 2-9

す

ストラップ, 6-1

ひ

必要な工具類, 2-1, 6-1

せ

設置

完了, 4-3

キャビネット, 2-3

電源ケーブル, 2-7, 2-9

設定

パッケージ, 3-1

そ

ソケットのアース, 2-6

ソフトウェア

パッケージのインストール, 3-1

た

高さ調整脚, 4-4, 6-2, 6-6

つ

通気フロアパネル, 2-3

て

電源

ケーブル配線の要件, 2-7, 2-9

に

入出力ケーブル, 4-3

は

配電盤, 2-4

パッケージ

設定, 3-1